

2 各部局等のFD活動

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先導学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 ・学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 ・教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和6年度に向けた改善計画</p> <p>令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。</p> <p>融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p> <p>先導学類は、令和6年度が完成年度となることから、教育方法・教育課程の検証を行い、教育課程の改正等について検討する。</p> <p>先導学類一期生が卒業となることから、令和6年度末に卒業生アンケートを実施する。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全科目ルーブリック掲載)
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第18回融合学域FD研修会	令和6年5月30日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について」	28名	融合学域で実施
第19回融合学域FD研修会	令和6年6月27日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について その2」	20名	融合学域で実施
第20回融合学域FD研修会	令和6年7月25日	「GPS-Academic(問題解決力測定テスト)の概要・前年度結果・今年度実施予定等」	18名	融合学域で実施
第21回融合学域FD研修会	令和6年11月28日	「文理医融合教育」	19名	融合学域で実施
第22回融合学域FD研修会	令和6年12月26日	「融合学域ふりかえり」	24名	融合学域で実施
第23回融合学域FD研修会	令和7年2月27日	「確立科目その他」	23名	融合学域で実施
第24回融合学域FD研修会	令和7年3月27日	「新年度の課題」	28名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年6月13日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年7月11日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年10月10日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年11月14日	融合研究域教員の研究紹介	42名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年12月12日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和7年1月9日	融合研究域教員の研究紹介	44名	融合学域で実施
先導学類ワークショップ	令和6年10月4日	令和7年度以降カリキュラム ほか	25名	
先導学類ワークショップ	令和6年12月26日	令和7年度以降カリキュラム ほか	24名	
先導学類ワークショップ	令和7年1月17日	令和7年度以降カリキュラム ほか	27名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
<p>3 概ね評価できる</p>	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧可能とした。 ・先導学類一期生が4年生となり、確立科目(融合研究・融合演習・卒業研究科目)の発表会の運営等について意見交換を行った。 ・融合学域設置から4年目を迎え、初年度の先導学類から、観光デザイン学類、スマート創成科学類を順次設置し、新たに融合科学系の教員となった教員も多くなってきたこともあり、文理医融合教育及びこれまでの融合学域の教育をふりかえり、今後の教育方針等について意見交換を行った。 ・融合系教育研究会議開催に合わせ融合科学系教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員研究について相互理解を深めた。 ・先導学類のカリキュラムを検証し、教育課程について意見交換を行った。 ・一期生の卒業に合わせ、令和6年度末に卒業生アンケートを実施した。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>令和6年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。 融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 観光デザイン学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 ・学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 ・教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和6年度に向けた改善計画</p> <p>令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。</p> <p>融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全科目ルーブリックを掲載)
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第18回融合学域FD研修会	令和6年5月30日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について」	28名	融合学域で実施
第19回融合学域FD研修会	令和6年6月27日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について その2」	20名	融合学域で実施
第20回融合学域FD研修会	令和6年7月25日	「GPS-Academic(問題解決力測定テスト)の概要・前年度結果・今年度実施予定等」	18名	融合学域で実施
第21回融合学域FD研修会	令和6年11月28日	「文理医融合教育」	19名	融合学域で実施
第22回融合学域FD研修会	令和6年12月26日	「融合学域ふりかえり」	24名	融合学域で実施
第23回融合学域FD研修会	令和7年2月27日	「確立科目その他」	23名	融合学域で実施
第24回融合学域FD研修会	令和7年3月27日	「新年度の課題」	28名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年6月13日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年7月11日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年10月10日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年11月14日	融合研究域教員の研究紹介	42名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年12月12日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和7年1月9日	融合研究域教員の研究紹介	44名	融合学域で実施
観光デザイン学類ワークショップ	令和6年10月15日	復興・産業創生に向けての地域連携推進ほか	23名	
観光デザイン学類ワークショップ	令和6年12月3日	令和7年度授業担当教員ほか	22名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
<p style="text-align: center;">3 概ね評価できる</p>	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧可能とした。 ・先導学類一期生が4年次となり、確立科目(融合研究・融合演習・卒業研究科目)の発表会の運営等について意見交換を行った。 ・融合学域設置から4年目を迎え、初年度の先導学類から、観光デザイン学類、スマート創成科学類を順次設置し、新たに融合科学系の教員となった教員も多くなってきたこともあり、文理医融合教育及びこれまでの融合学域の教育を振り返り、今後の教育方針等について意見交換を行った。 ・融合系教育研究会議開催に合わせ融合科学系教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員研究について相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>令和6年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。 融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。 観光デザイン学類は、令和7年度が完成年度となることから、教育方法・教育課程の検証を行い、教育課程の改正等について検討する。 観光デザイン学類一期生が卒業となることから、令和7年度末に卒業生アンケートを実施する。</p>
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 スマート創成科学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和6年度に向けた改善計画</p> <p>令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。</p> <p>融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全科目ルーブリックを掲載)
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第18回融合学域FD研修会	令和6年5月30日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について」	28名	融合学域で実施
第19回融合学域FD研修会	令和6年6月27日	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について その2」	20名	融合学域で実施
第20回融合学域FD研修会	令和6年7月25日	「GPS-Academic(問題解決力測定テスト)の概要・前年度結果・今年度実施予定等」	18名	融合学域で実施
第21回融合学域FD研修会	令和6年11月28日	「文理医融合教育」	19名	融合学域で実施
第22回融合学域FD研修会	令和6年12月26日	「融合学域ふりかえり」	24名	融合学域で実施
第23回融合学域FD研修会	令和7年2月27日	「確立科目その他」	23名	融合学域で実施
第24回融合学域FD研修会	令和7年3月27日	「新年度の課題」	28名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年6月13日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年7月11日	融合研究域教員の研究紹介	40名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年10月10日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年11月14日	融合研究域教員の研究紹介	42名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和6年12月12日	融合研究域教員の研究紹介	43名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和7年1月9日	融合研究域教員の研究紹介	44名	融合学域で実施
スマート創成科学類ワークショップ	令和6年10月24日	令和7年度授業担当教員 ほか	26名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
<p style="text-align: center;">3 概ね評価できる</p>	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧可能とした。 ・先導学類一期生が年次となり、確立科目(融合研究・融合演習・卒業研究科目)の発表会の運営等について意見交換を行った。 ・融合学域設置から4年目を迎え、初年度の先導学類から、観光デザイン学類、スマート創成科学類を順次設置し、新たに融合科学系の教員となった教員も多くなってきたこともあり、文理医融合教育及びこれまでの融合学域の教育を振り返り、今後の教育方針等について意見交換を行った。 ・融合系教育研究会議開催に合わせ融合科学系教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員研究について相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>令和6年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。 融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人文学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	教員相互の授業参観・授業評価、成績評価基準等の作成・検証、FD研修会等については、ほぼ当初計画通りに着実に実施することができた。授業参観については、対面型で実施した。また、FD研修会では、異文化体験的COIL型授業について一層の理解を深めることができた。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 令和5年度の授業評価アンケート結果を見る限り、本学類の教育は総じて学生から高く評価されていることが分かる。今年度は、基本的にはこれまでの取り組みを踏襲し、学類のFD研修会や公開授業の実施などを通じて、学類教員の教育能力向上を図ることにいっそう意を注ぐ予定である。これに加えて、更に多くの学生が授業の満足度を高め、達成感が得られるよう、各方面からの意見や助言を得ながら委員会として積極的に対応策を検討していきたい。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
人文学類FD研修会	令和6年11月1日	仲 真紀子 先生(国立研究開発法人理化学研究所・理事) 「ダイバーシティがあるとよい理由」	学類長, FD委員ほか。計約24名	オンライン、人間社会学域公開

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	教員相互の授業参観・授業評価、成績評価基準等の作成・検証、FD研修会等については、ほぼ当初計画通りに着実に実施することができた。授業参観については、対面型と授業録画のオンデマンド配信の2タイプで実施した。特に、FD 研修会では、ダイバーシティについて留意した教育実践の重要性の一層の理解を深めることができた。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度の授業評価アンケートおよび卒業生アンケートの結果を見ると、本学類の教育は総じて学生からかなり高く評価され続けていることが分かる。令和7年度も、基本的にはこれまでの取り組みを踏襲し、学類のFD研修会や公開授業の実施などを通じて、学類教員の教育能力向上を図ることにさらに意を注ぐ予定である。これに加えて、更に多くの学生が授業の満足度を高め、達成感が得られるよう、各方面からの意見や助言を得ながら委員会として積極的に対応策を検討していきたい。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	各教員に対する各種の負担が増えるなか、学生に対するアドバイスをいかに効率的に行うか、数回にわたって学類会議で議論し、問題意識を共有してきた。連絡が取りにくい学生にどうアプローチするかについて、教員同士で機会あるごとに情報交換している。FD研修会では、法学・政治学を学ぶ学類生にとって有用な英語力の向上を目指して創設された、English for Legal Studiesで、実際担当している教員から学生の授業態度や、生の英会話、聴き取りにあまり慣れていない学生に、どのようにして興味を持ってもらうか議論し、問題意識を共有した。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他(自由記述欄での指摘について学類会議で情報共有し、学類運営委員会で、改善策を検討した)

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
人間社会学域FD研修会	令和6年12月17日	教学マネジメントセンターの林透教授を講師に迎え、全学の教育体制の変化に伴って各教員が意識的に取り組むべき課題を提示して頂き、それに基づいて意見交換した。	40名	法学類・法務専攻主体のFD研修会を人間社会学域全体に開放したものの
初学者科目担当者FD研修会	令和7年2月12日	アカデミックスキルなどの一年次教育に関する意見交換	8名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	FD研修会、卒業生アンケートや教務委員会、学生生活委員会の報告で指摘された様々な問題点に焦点を当てながら、学類会議等、全教員が集まる場で問題意識を共有し、学域再編やキャンパス再整備が進んでいくなかで、学生の学修環境をどのように維持・改善していくべきか、どのように進路指導すべきか議論を重ねている。また、特に司法試験・法曹養成と関連する授業科目について、どのように成績評価するかについて学類会議等で意見交換している。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

各教員とも学生に対し、授業の時間外で自発的に学んでおくべきことを指示し、参考文献も適宜指示しているが、アンケート結果などを見る限り、どのようにすれば効果的に学修できるのか、そもそもどこから手を付けたいのかコツが掴めないため、予習・復習が疎かになっている学生も少ないように思われる。学類としては、学生が自発的に学修するグループを形成しやすいよう、学生が集まる機会を提供するなど工夫しているが、友人が少ないことなどから、そうしたグループに参加するのに気後れする学生もいると思われる。令和7年度は、グループあるいは個人での法学・政治学の学修プロセスのモデルを構築し、それを授業の中でどのように伝えていくか検討することを課題とした。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 経済学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	2回のFD研修会のほかに、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会 企画・運営 ・教員と学生懇談会 企画・運営 ゼミナール大会については、ゼミ運営のメルクマールとしての役割やプレゼンテーション能力の向上にも寄与して学生もその意義を認識していることから、「4:大いに評価できる」とした。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 学域 GS 言語科目を中心とする教員ローテーション科目について、学生への効果の観点で授業運用や評価方法などを毎年見直すなど試行錯誤している。この点で、有意義な運用などをFD研修会などで共有するとともに問題点を洗い出し、卒業要件であるTOEICスコア到達に向けて検討していく。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ローテーション科目での取り扱い内容について報告・共有した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備 考
外部講師(コインチェック株式会社代表取締役 会長執行役員 蓮尾聡氏)講演会	令和6年6月12日	仮想通貨に関する知識の整理や今後の展開について説明し、学生からの質問に対応	学生135名 教員6名	
学域GS言語に関する研修会	令和6年8月1日	「学域GS言語」のシステム利用方法並びに実践報告	FD委員 他 9名	
外部講師(ニッセイ基礎研究所主任研究員 佐久間誠氏)講演会	令和6年12月19日	「教育や研究における生成AIの活用」と題して生成AIの現状と使用方法、活用にあたっての注意点や法律違反等に関する事例等を講演	経済学類11名 他学類3名 合計14名	
武田公子教授 最終講義	令和7年3月7日	ボランティア学に関する歴史並びにカリキュラムの成立や現状に関して報告	経済学経営学系10名 他9名・合計19名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4	上記4回のFD研修会に加え、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会の企画・運営 ・教員と学生懇談会の企画・運営 ゼミナール大会については、ゼミ運営のメルクマールとしての役割やプレゼンテーション能力の向上にも寄与している。学生もその意義を認識していることから、「4:大いに評価できる」とした。また、12月のFD研修後に、生成AIの使い方に関するパワーポイントを作成し、アカデミックスキルの教材として、学類全体で共有した。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学域 GS 言語科目を中心とする教員ローテーション科目について、学生への効果の観点で授業運用や評価方法などを毎年見直すなど試行錯誤している。この点で、有意義な運用などを FD 研修会などで共有すると共に、問題点を洗い出し、卒業要件であるTOEICスコア到達に向けて検討していく。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学校教育学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	<p>令和5年度は、FD活動の多くを通常の状態に戻して実施することができた。今年度は金沢大学と富山大学が共同教員養成課程をスタートさせてから2年目となった。多くの専門的科目が開始され、それらのうち「斉一授業」で行われるものも多い。斉一授業の多くは両大学の教室を専用の回線で結び、いずれかの大学の担当教員が授業を同時に行う形になるが、年次進行によりその形式の授業が多くなった結果、いくつかの改善すべき課題も明らかになった。FD研修会や情報の共有を通してそれらの改善に向けての意識を強く持つよう働きかける試みが行われた。</p> <p>令和5年度の学校教育学類FD・カリキュラム委員会は、学類の教育力を向上させるためのFD研修会を計3回実施した。そのうち特筆すべきものは、令和5年9月28日に金沢大学と富山大学を結んで実施した「第1回金沢大学・富山大学合同FD研修会(第2回金沢大学学校教育学類FD研修会)」の実施であった。これは、上述の「斉一授業」において同時開催授業を担当した両大学の教員がその経験を基に、授業に向け準備すべきこと、進め方における注意点、実際に発生した困難やその解決に向けての工夫などを提起し、両大学からの質疑応答を行うものであった。昨年度は金沢大学開催の研修会を富山大学にも同時送信し、質疑応答には両大学の教員が参加し話し合いを行うことができたが、今年度は企画から実施のすべてを両大学の協力によって行うことができたことにおいて大変意義深い研修会となった。今回の研修会合同実施により、授業評価などの共通フォーマット化を進めるなど、この課程の授業を充実させるために両大学がこれからより一層緊密な関係を構築するための環境醸成が進んだ。</p> <p>また大学が行う「授業評価アンケート」に加えて、学校教育学類FD・カリキュラム委員会は学類全学生を対象として学類学生が将来教職に就く意志をどのように形成されていくかを継続的に調査する学類独自のアンケート(「教職に就く意志についての意識調査」)を5月と10月に計2回実施した。この調査は今後も継続し、できる限り多くの学生の声にきめ細やかに耳を傾け、学類教育全体の質の向上へと繋げてゆく。</p> <p>今年度2回実施する予定であった学類の研究授業だが、実施は一度となった。その研究授業は初めて富山大学共同教員養成課程との「斉一授業」を題材としたもので、この実施と授業討論会を通して授業の成果と課題を明らかにすることができた。予定されていたもうひとつの研究授業は能登半島地震の影響により次年度に延期せざるを得なかったが、すでに令和6年度の実施日程も決定され準備が進んでいる。</p> <p>以上、令和5年度のFD活動全体を通して考察すると、更なる取り組みが必要とされる点があるものの、富山大学との合同研修会や、斉一授業を題材とする研究授業の実施といった初めての取り組みを含み、可能な活動に積極的に取り組んだことから、「4:大いに評価できる」と自己評価する。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和6年度に向けた改善計画</p> <p>学校教育学類は所属学生全員に対して、「教職に就く意志についての意識調査」を令和5年度も二度実施した。この調査は学生たちの教職に対する現時点での意識や、変化を教員が理解し、通常の授業やその他の学生指導に活用することが目的として含まれる。同意意識調査では授業や学生生活における意見などが寄せられるが、個人情報処理後に学類教員が共有する。これらは授業やその他の指導における改善点について、学生からの貴重な声を聞くための不可欠な資料となっている。学生たちがこの調査を将来への意思を確認する機会として利用していることから、学類の学生と教員がともに学修やその他の活動をより充実したものとしていくための重要な活動となっている。</p> <p>また、3月に実施された「卒業生アンケート」においては高い回答率が見られ、信頼性のある結果が得られたと考える。学修の達成度を問うそれぞれの項目について「十分に達成している」の数値と「ある程度達成している」をあわせるとほぼすべての項目で90%以上の達成度となった。学校教育学類での学びについて「満足・あるいはやや満足」と解答している学生が98%以上に達することは特筆すべきことと考える。</p> <p>「令和5年度授業評価アンケート」に関して、学類所属教員には学類会議等で調査実施への協力、また結果の確認とその後の活用に係る依頼と提言を行った。従来課程の学校教育学類、および新課程である共同教員養成課程の両方において回答率は最も高いものとなっている。授業内容の適切性、授業理解度、学修目標達成度、授業満足度のいずれについても高い数値を示しており、学類が提供する授業に対する学生からの高い評価はおおむね明らかだと思われる。授業時間外の学習時間について、従来の課程に所属する学生の勉強時間が多いものとなっている。このことは日々の課題に取り組むことを通じ、将来の目標に向い努力している様子が強く窺われる。だがその一方で、令和5年度においては1,2年次が所属する共同教員養成課程の学生については不十分な様子が見られる。各授業に個別に寄せられた学生の真摯な思いを受け止めて各教員が授業の一層の充実に向けて努力するのはもとより、学類教員間でこの全体の状況を共有し、より熟慮を重ねて学生指導にあたる必要がある。令和6年度にも実施される同アンケートについて、調査対象授業科目を担当する教員には学類会議等を通して実施協力依頼がすでになされているが、アンケート結果の一層の活用についても学類会議などにおいてFD・カリキュラム委員会が継続的に関心を喚起し、さまざまな提言を行う。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(FD研究授業を実施、アンケートで高評価の授業者の授業テクニックを研修会で共有)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
学校教育学類FD研修会	令和6年8月26日	「探究の学び」をより深化・発展させる学類、研究科、附属学校園の研究連携を目指して	学類から40名参加	
第1回 金沢大学・富山大学共同 教員養成課程合同FD研修会	令和6年9月25日	共同教員養成課程における遠隔授業の課題と対応	学類から15名参加	富山大学とはリモートで実施
第2回 金沢大学・富山大学共同 教員課程合同FD研修会	令和7年1月16日	共同教員養成課程におけるユニット活動について	学類から25名参加	富山大学とはリモートで実施

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	<p>令和4年度に始まった富山大学との共同教員養成課程は、令和6年度で3年目を迎えた。専門科目の授業が増える中で、例年行っているFD研修会、授業アンケート、教職に関するアンケートに加え、令和6年度は富山大学との合同FD研修会を2回実施した。総評として、富山大学との合同研修会を中心に述べる。</p> <p>第1回は、令和5年度から課題となっている「斉一授業」をテーマに行った。研修会では両大学で共通したアンケートの結果に基づき、課題を明確にするとともに、評価が高かった授業担当者の授業方法や工夫を共有した。特に、斉一授業における遠隔で受講する学生に対し、どのような能動的な学習支援を提供できるかについて、活発な意見が交わされた。</p> <p>さらに、第2回の合同研修会では両大学間の学生交流を促進する小旅行型のエクスカージョン活動について議論し、課題を整理した。令和7年度が本課程の完成年度にあたることを踏まえ、エクスカージョンの改善点を具体化した。今後はより効果的な実施方法の検討が必要である。</p>

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>全学的に実施されている授業評価アンケートに加え、学類独自の「教職に関する意識調査」も実施している。1, 2年次対象は5月のみ実施し、3, 4年次対象は5月に加え教育実習後の10月にも実施している。</p> <p>この調査の目的の一つは、学生の4年間にわたる教職への意欲の推移を明らかにすることである。そして、もう一つの目的は、3, 4年次を対象にした調査において、大学の授業と教育実習との関連を学生の視点から検討することである。学生が実習を経験することで、実習前にどのような学びが必要だったのか、また実習後にはどのような学びを求めているのかを明らかにし、カリキュラムや授業改善に役立てることを目的としている。</p> <p>一つ目の目的に関しては、教職に対する意欲は1年から4年まで概ね維持され、特に実習以降に意欲が上がったという意見が多くみられた。一方で、入学時から教職に対する意欲が低い学生がある程度存在し、令和7年度はその学生への具体的なサポートが求められる。</p> <p>二つ目の目的に関しては、5-1で述べたとおり、斉一科目における遠隔授業とエクスカージョンの課題が明確になった。前者では、FD研修会で議論したような能動的な学習支援の具体的な手法を、遠隔授業の担当者に活用してもらうことで改善を行っていく。そして、後者ではエクスカージョンを実施する推奨期間を設定することが令和7年度の具体的な改善策の一つとして挙げられる。さらには、エクスカージョンの設定理念は大変重要なものであるが、学生はカリキュラム外活動であるエクスカージョンに対して消極的である。本活動に積極的な参加を促進させる具体策を検討する必要があり、富山大学と連携して検討していく計画ができていく。</p> <p>次年度は本課程の完成年度にあたるため、引き続きこれまで実施してきたFD活動の充実を図るとともに、富山大学との合同FD研修会を通じて、カリキュラムの強化、深化および効果的な授業実践を支援していきたい。</p>
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地域創造学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	全教員の授業公開および授業参観、卒業者アンケート・授業評価アンケートの公表、成績評価分布の共有などのFD活動について滞りなく実施した。シラバス点検については、昨年度、教務・学生生活委員会とFD委員会の合同で全教員分を対象に実施したため、今年度はFD委員長による抽出点検を行い、必要項目の記載はほぼ徹底されていることを確認した。昨年度来、毎月1名の教員によるFD研修会(教育・研究実践報告)を実施しており、教育研究内容の相互理解や教育研究の質の向上を図っている。この研修会の動画は学生にも公開し、専門分野への興味・関心の醸成に役立っている。一方、昨年度は卒業者アンケートの回収率が低いことが課題であったが、今年度はアンケート開始時期の前倒しや複数回の呼びかけにより回収率が格段に向上した(約30%→約60%)。授業評価アンケートの活用に工夫の余地があるが、概ね評価できるFD活動であったと言える。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和6年度に向けた改善計画</p> 今年度の卒業生アンケート(回収率約6割)の結果を分析したところ、学類のDPに関する能力はほとんどの項目で「高められた」「まあ高められた」、また学類教育の満足度もほとんどの項目で「満足している」「やや満足している」との高い評価を得ていた。このことから、当学類の学生教育は概ね適切であると言え、今後も同様に丁寧に取り組んでいくことが望まれる。その一方で、授業評価アンケートについては活用しきれていない。令和5年度からシラバスに予習・復習のための教材や学修時間を記載したことを踏まえ、予習・復習時間の変化に伴う授業の理解度についての検証等を行う必要があると思われる。さらにその検証結果を踏まえ、教育方法の改善についても検討を行いたい。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(各教員が活用した)
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(FD委員会で分析した結果を共有した)

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(1回実施した)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもループリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(各教員で検証した)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
地域創造学類FD研修会	令和6年4月18日	藤谷教員の実践報告	8名	
地域創造学類FD研修会	令和6年5月16日	森山教員の実践報告	8名	
地域創造学類FD研修会	令和6年6月20日	坂本教員の実践報告	8名	
地域創造学類FD研修会	令和6年7月25日	丹羽教員の実践報告	8名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	授業参観、卒業生アンケート・授業評価アンケート、カリキュラムマップ・ツリー更新などのFD活動を実施した。シラバス点検については、令和5年と同様に今年度もFD委員長による抽出点検を行い、必要項目の記載はほぼ徹底されていることを確認した。令和4年度から教員によるFD研修会(教育・研究実践報告)を実施しており、教育研究内容の相互理解や教育研究の質の向上を図っている。この研修会の動画は学生にも公開し、専門分野への興味・関心の醸成に役立っている。卒業生アンケートの回収率を改善するため、令和5年度と同様にアンケート開始時期の前倒しや複数回のアナウンスを行った。授業参観の増加や授業評価アンケート活用に工夫の余地があるが、概ね評価できるFD活動であった。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度の卒業生アンケート(回収率約5割)の結果を分析したところ、学類のDPIに関する能力はほとんどの項目で「高められた」「まあ高められた」、また、学類教育の満足度もほとんどの項目で「満足している」「やや満足している」との高い評価を得ていた。このことから、当学類の学生教育は概ね適切であると言えるが、地域創造学をより体系的に学修するための教科書を学類全体で作成することを計画している。この執筆作業において授業評価アンケートの活用を計画している。また、FD委員による授業参観の回数を増加させて、教育方法の改善および地域創造学の教科書における執筆内容の検討を行いたい。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	本学類のFD活動に基づく授業の質向上は、卒業者の授業アンケートの結果(授業に対する満足度に関し文系学類においてトップ)等からみても、概して満足すべき水準にあると思われる。中野涼子教授の指導によるシンガポール国立大とのコイル授業の展開など、国際学類ならではの特色ある思考も次第に成熟しつつある。今後の課題としては学生への聞き取り調査等に基づく、従来認知されてこなかったような改善点の洗い出しがあげられるが、年度末に生じた担当者(石黒)の不慮の事故による療養のため、この課題に十分に取り組みなかったことが残念である。本年度の取り組み事項としたい。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他(コース制からプログラム制へ移行中だが参考にした)

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
教職課程に関する研修会	令和6年5月28日	教職課程についての理解を整理し対応の共有を図る研修会	10名	
生成AI利用に関する研修会	令和6年10月29日	アカデミックスキルにおける生成AIの取り入れについての研修会	10名	
アカデミックスキル・プレゼンディベート論研修会	令和7年3月7日	アカデミックスキル・プレゼンディベート論担当教員の実践報告及び改善案検討会	10名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	過去1~2年で急速に発展・普及している生成AIのアカデミックスキルでの取り扱いについて理解と認識を共有することが出来たことは評価できる。また、教職課程について教員側の理解を整理し希望する学生に対するアドバイス面談に対する備えを確立させたことも重要である。卒業者の授業アンケート結果を見ても満足度は全体にかなり高い状態を維持しており概して評価できる水準を保っていると考えられるが、国際学類の教員構成上一部カパーしきれない地域に対する学生の関心にどのように対応すべきかといった課題が残っていることも事実であり、今後の検討と改善が必要と考えられる。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和7年度には教員相互の授業参観を定着させる予定である。FD研修会「歴史総合を考える」を開催予定。これによって、学生は高校で何を学んでくるのか、ということを確認し、授業の向上を図る。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 数物科学類・数物科学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	今年度もQ4を中心にオンライン授業を行わざるを得ない状況が頻発した。また、予習・復習の教材を準備することが要請され、遠隔教材を指定されることも多くなった。遠隔と対面および自習用に共用できる教材開発が行われ、教材の改善にFDが貢献したと考えられる。研修会は実施できなかったが、R6に談話会を行う予定。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 R5年度はアンケート実施数を改善できたが、回答内容の質に問題がある。回答時間の確保や学生への協力依頼等を行うことで、より良いデータを用いてカリキュラムの改善につなげていく。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
実施なし				

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	授業は適切におこなわれるようになり、また、予習・復習の教材も考慮した教材の開発が行われた。遠隔、対面および自習用に共用できる教材の改善にFDが貢献したと考えられる。研修会は実施できなかったが、研修会の企画を検討する。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度は事務的なトラブルもあり、アンケート実施数を改善できなかった。回答内容の質に問題があるので、回答時間の確保や学生への協力依頼等を行うことで、より良いデータを用いてカリキュラムの改善につなげていく。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 物質化学類・物質化学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	物質化学類ではFD研修会において、教員による自身の授業への取組みの紹介を継続的に行っている。講義形態に対し意見交換の機会を積極的に作ることで、状況に応じた教育方法改善に向けて十分な努力を行うことができた。月例会議でも授業評価方法や改善策に関する話し合いを継続し、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んだ。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和6年度に向けた改善計画</p> <p>昨年度よりも教員と学生間の自己評価が向上した。一方、「課題・背景の説明」や「課題遂行への助言」で減少していた。学生回答と見比べると、実験活動の指導に注力した結果と考えられる。実験指導中の課題の1つになると予想される。発表指導などは過去最高であり、効果的な指導につながった。これらの結果を踏まえ、ディスカッション時間の定期的な確保を通したさらに効果的な指導方法を組むこととした。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(教務委員と連携し評価基準の明確化、および適正な評価の付与を周知している。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第23回FD研修会	令和6年10月8日	有機化学、応用化学演習を行っている教員の 実践報告	18名	応用化学コアプログラム
令和6年度第1回教育改善委員会	令和6年7月9日	卒業研究自己診断アンケート集計結果の分 析、今後のFD活動の方針と計画についての議 論	6名	応用化学コアプログラム

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	令和6年度は月例会議後において授業評価方法や改善策に関する話し合いを継続し、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んだ。FD研修会を実施し、卒業生のアンケートと指導教員のアンケート結果から、授業の改善・教育効果の向上を図った。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

教育改善委員会およびFD研修会において、アンケート結果をもとに教員間でディスカッションを行い、教育活動における課題や改善点を明らかにする。特に、不十分であった点や学生の期待とのズレ(ミスマッチ)を把握し、今後の教育方針の策定に活かすこととする。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 機械工学類・機械科学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度の授業アンケートや卒業生・修了者に対するアンケートの集計結果が公開され、教員間で共有されたが、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ改善の働きかけることは行えなかった。シラバスの基本項目や英語化、成績評価基準の点検、FD研修会の実施等、FD活動の主幹となる項目が概ね実施された。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 授業アンケートのマイナスの評価内容について、機械工学類の教員間で共有し、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ授業の改善を働きかける。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(英文入力はすべての科目でなされており、シラバス入力のみ周知した。)

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。(科目名:機械工学設計製図) <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。(科目名:先端テクノロジー概論A 機械工学類担当回) <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(1名の教員が夢ナビ講義Videoを公開した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
理工3学類 合同FD研修会	令和7年3月26日	学生実験における「学生間ピアレビュー」の活用	40名	電子情報通信学類、 フロンティア工学類と合同開催

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	シラバスの基本項目の英文入力に関しては、すべての科目で実施されており、問題無い。成績評価基準やActive Learningに関する記載に関してはまだ改善の余地があるため、機械工学類の教員間で共有し、令和7年度以降にこれらの英文表記も含め改善を働きかける。教員相互の授業参観に関して、先端テクノロジー概論Aでの機械工学類担当の2回を利用し、1回の講義で6名の教員が学生の興味・関心を惹く機械工学分野の魅力ある内容を吟味し、教員も相互参観しながら講義を実施している。またこの講義を受講した学生からの感想等を機械工学類の全教員と共有し、学生の現状での興味・関心を把握し、機械工学類での教育研究活動に活かしている。FD研修会の実施等、FD活動の主幹となる項目は例年通り概ね実施された。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

卒業・修了者に対するアンケートの集計結果に関して、令和5年度、令和6年度ともに回答率70-80%となり、機械工学類・機械科学専攻のDP達成度自己評価の傾向が見えてきた。授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートの集計結果を機械工学類会議で教員に周知・共有し、分析結果等を各教員やカリキュラム検討委員会での教育方法やカリキュラム改善のための参考資料として供し、より良い授業への改善を働きかける。また令和7年度においては、卒業・修了者に対するアンケートの回答率のさらなる向上をはかる。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 フロンティア工学類・フロンティア工学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	安定した教育環境を整えられるように、シラバスやアンケートの確認を行っている。これまでに明らかとなった問題点を踏まえて、カリキュラムの修正への検討も開始しており、よりよい学類を目指したFD活動を継続的に行なっている。教育に活用できるソフトウェアに関するFD研修会を行い、プログラミングやグラフィックツールの教育での活用や、人工知能を利用したソフトウェアの利用法と注意点について紹介した。また、コロキウムと呼ばれる学生向けの講演会を行い学類選択やコア選択のための教育内容について紹介している。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 アンケートの結果を踏まえて、カリキュラムの見直しを行っていく。社会を先導する人材を育成するために異分野の融合を進め、各科目について見直しを進めている。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
3学類合同FD研修会	令和7年3月26日	「学生実験における「学生間ピアレビュー」の活用」を行っている教員の実践報告	30名	フロンティア工学類 機械工学類 電子情報通信学類合同開催

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4	安定した教育環境を整えられるように、シラバスやアンケートの確認を行った。これまでに明らかとなった問題点を踏まえてカリキュラムの修正を行い、令和7年度入学者から新カリキュラムとして適用するための準備を整えるなど、よりよい学類を目指したFD活動を継続的に行った。学生実験における「学生間ピアレビュー」の活用に関するFD研修会を行い、学生間ピアレビューが実験レポートのクオリティや自学効果の向上に対して与える効果、本取組みの持つメリット・デメリットを交えた特徴について紹介した。また、学類コロキウムにおいて学生向けの講演会、ポスター発表及び展示による研究室紹介を行い、学類選択やコア選択のための教育内容について紹介した。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和7年度新入者より学類のカリキュラムが変更されるため、カリキュラム変更に伴う教育効果等について検証する。また、大学院についても令和6年度のアンケート結果を踏まえて、引き続きカリキュラムの見直しを行っていく。特に社会を先導する人材を育成するために、各授業科目の内容を見直し、異分野融合を着実に進める。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 電子情報通信学類・電子情報通信学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	シラバスの基本的項目について点検し、問題ないことを確認し、学類で共有した。授業科目の英語化について点検した。教員相互の授業参観としてモデル授業について実施した。成績評価基準の記載を点検し、成績分布を調査し、問題ないことを確認し、学類で共有した。理工3学類合同のFD研修会を実施した。教育方法の改善に組織的に取り組み、推進できた。よって本年度のFD活動は概ね評価できる。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 独自に作成したFD活動のためのLMSコースを活用し、各教員が授業評価アンケートの結果を評価し、次の目標を設定し、授業改善を行った。この取り組みを来年度も継続する。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
理工3学類FD研修会	令和7年3月26日	学生実験における「学生間ピアレビュー」の活用	3学類の学類長、FD委員、ほか、合計44名	機械工学類、フロンティア工学類と合同開催

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの基本的項目について点検し、問題ないことを確認し、学類で共有した。 ・授業科目の英語化について点検した。 ・教員相互の授業参観としてモデル授業について実施した。 ・成績評価基準の記載を点検し、成績分布を調査し、問題ないことを確認し、学類で共有した。 ・理工3学類合同のFD研修会を実施した。 ・教育方法の改善に組織的に取り組み、推進できた。 以上より、令和6年度のFD活動は概ね評価できる。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

独自に作成したFD活動のためのLMSコースを活用し、各教員が授業評価アンケートの結果の評価および次の目標を設定することにより、授業改善を行った。 この取り組みを令和7年度も継続する。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地球社会基盤学類・地球社会基盤学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>次年度のJABEE審査に備えて、各教員における受審への意識を高めるために、JABEE審査員の経験がある民間のOBを招いて、「JABEE審査の経験を通して」と題した講演をして頂いた。また、本学類で独自に行っている卒業生によるアンケートから選出された優秀教員による授業方法について話題提供および意見交換を行い、それぞれの教員の授業改善につながる活動を行った。</p> <p>以上の活動から、「概ね評価できる」FD活動であったと評価した。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画
		<p>DPIに対する達成度アンケートから、土木防災、環境都市コースでは、すべての項目に対して、「十分に達成している」「ある程度達成している」と回答した学生が8割を超えていたことから、十分な教育が行われていたと考えられる。また、学類内独自に行った卒業生アンケートでは、卒業研究の研究室配属の方法について、不満が見られ、今後の改善方法を検討しなければならないと感じた。さらに、それぞれの科目ごとに行われた授業評価アンケートに対しては、各教員でリフレクションペーパーを記載することで次年度の授業改善に活かすように周知した。R6年度はJABEE受審があるため、すべての科目について過去2年分のリフレクションペーパーを準備することになっている。本学類では学類FDシンポジウムを毎年開催して各教員の教育能力の底上げを行う活動をしているため、今後も継続していきたい。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
地球社会基盤学類 FDシンポジウム	令和6年11月1日	(講演)AIリテラシーの教育実践紹介を行っている教員の実践報告 学類内の優秀教員による講演 JABEE関連の情報共有	学類長, 専攻長, FD委員ほか17名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	FDシンポジウムでは、教育研究の場においてAIの活用が進む中、AIリテラシーを高める教育実践について、実例を交えつつ、国際基幹教育院外国語教育系の山村公恵講師に、講演いただいた。また、本学類で独自に行っている卒業生によるアンケートから選出された優秀教員による授業方法について、話題提供および意見交換を行い、それぞれの教員の授業改善につながる活動を行った。 以上の活動から、「概ね評価できる」FD活動であったと評価した。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

卒業生、修了者への達成度アンケートから、地球社会基盤学類の全3コースともに、DP達成度は、全ての項目に対して、「十分に達成している」「ある程度達成している」と回答した学生が8割を超えており、カリキュラムが掲げる教育目標を達成できていると考えられる。また、学類内独自に行った卒業アンケートでは、卒業研究における研究室配属の方法について、改善を求める声も一部に確認された。すべての学生が納得する方法は困難であると認識しつつも、更なる改善の必要性を感じた。令和6年度は、土木防災コースおよび環境都市コースにおいてはJABEE受審があるため、すべての科目について、過去2年分のリフレクションペーパーも含む科目ごとの教育内容を総括することになる。また、本学類では学類FDシンポジウムを毎年開催し、各教員の教育能力の底上げを行う活動をしており、今後も継続していく。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 生命理工学類・生命理工学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	授業評価アンケートの回答率がやはり低い傾向にあったので学生への周知を徹底する必要があると考えられた。各教員にはシラバスの内容の確認、授業評価アンケートについて回答率と評価の点検を求めた。改善案についても意見を求めた。さらに成績評価についても評価基準や成績分布の確認を求めた。またレポートの作成法や学生実習の実施方法について独自の取り組みを行った。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和6年度に向けた改善計画</p> 授業評価アンケートについては、各教員に各アンケート結果の確認を周知、それに基づいた授業内容の改善を求めた。卒業・修了者アンケートについては学類会議にて大まかな結果報告を行い、意見徴収も行った。また授業アンケートと同様に回答率低い傾向にあったので通知の方法に改善が必要であると考えられた。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
実施なし				

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	授業評価アンケート及び卒業・修了者アンケートについて、回答率を上げるため、それぞれの教員から学生への働きかけを学類会議で周知した。また、授業評価アンケートについて学類会議で意見交換を行い、授業内容及び指導法の改善を通じて学生に積極的な学習姿勢を涵養する機会にもできる、という改善案が出た。実験実習科目から専門的知識の定着を図る学類であるため、レポートの作成法や学生実習の実施方法について取り組みを継続している。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケート及び卒業・修了者アンケートの内容について、学類独自に精査できているわけではない。具体的な課題の発見や新たな授業方法の立案につなげる改善が必要であると考えられた。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	<ul style="list-style-type: none"> 医学教育分野評価基準の1年毎の自己点検の作業を行い、日本医学教育評価機構(JACME)にその結果を報告し、本学医学類HP上でも令和5年度年次報告書を公開している。 令和5年度には医学系FD研修会を計10回実施した。今年度より医学類FD委員会は医療人材教育研究センターと連携することで、FD研修会の内容の充実に繋がった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、オンラインだけでなく、対面でもFD研修会を開催した。医学系FD研修会の対象の教員(医学系および附属病院所属の教員)がFD研修会の内容をいつでも閲覧できるように、FD研修会の資料や録画した動画をLMS「医学FD」上で共有している。また、年2回未満の教員に対しては、オンデマンド教材の視聴とレポート作成を例年通り課した。 チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多数の担当教員への説明が効果的に行われた。 カリキュラム評価委員会を定期的に開催し、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。医学類1～6年の各学年の代表者が同委員会に参画した。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和6年度に向けた改善計画</p> <p>カリキュラム委員会及び教育委員会を中心として、「医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版」を踏まえたカリキュラム改革を年度内に進める。医学類FD委員会と医療人材教育研究センターが連携して、FD研修会のさらなる充実を図っていく。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(1年次「早期医療体験」の実習のまとめにおいて、実習担当者に授業参観していただく機会を設けた。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第1回医学系FD研修会	令和6年4月	金沢大学医学類の教育理念・3つのポリシー	51名	
第2回医学系FD研修会	令和6年5月13日	学びを促す授業設計に向けて 目標・活動・評価の整合性をはかるには	49名	
第3回医学系FD研修会	令和6年6月17日	プロフェッショナリズム	36名	
第4回医学系FD研修会	令和6年7月22日	多職種連携教育(IPE)の実践例と今後に向けて	38名	
第5回医学系FD研修会	令和6年10月31日	マルチモビリティをバランスよく見るための妄想力を鍛えるカンファレンス(通称:マルモカンファレンス)をやってみよう!	35名	
第6回医学系FD研修会	令和6年11月12日	どうする?多職種連携教育~物理的距離を超えよう~	27名	
第7回医学系FD研修会	令和6年12月9日	臨床タイアップセッション ~臨床ナースの力を借りて事例をもとに状況判断能力を養う	44名	
第8回医学系FD研修会	令和7年1月20日	学生の学びを促すアクティブラーニングの技法	42名	
第9回医学系FD研修会	令和7年2月10日	入学から卒業までのシームレスな学生支援に向けて~医学生をプロフェッショナルな医師へと育成するために教員ができること~	45名	
第10回医学系FD研修会	令和7年2月18日	人工知能(AI)と教育-AIが人を教育する未来	32名	
第11回医学系FD研修会	令和7年3月7日	アクティブラーニングと心理的安全性	57名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4:大いに評価できる	・医学教育分野評価基準の1年毎の自己点検の作業を行い、日本医学教育評価機構(JACME)にその結果を報告し、本学医学類HP上でも令和6年度年次報告書を公開している。 ・令和6年度には医学系FD研修会を計11回実施した。医学類FD委員会は医療人材教育研究センターと金沢学術

	<p>アカデミーと連携することで、FD研修会の内容の充実に繋がった。医学系FD研修会の対象の教員(医学系および附属病院所属の教員)がFD研修会の内容をいつでも閲覧できるように、FD研修会の資料や録画した動画をLMS「医学FD」上で共有している。また、年2回未満の教員に対しては、オンデマンド教材の視聴とレポート作成を例年通り課した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 ・OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多人数の担当教員への説明が効果的に行われた。 ・カリキュラム評価委員会を定期的開催し、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。医学類1～6年次の各学年の代表者が同委員会に参画した。 ・カリキュラム委員会及び教育委員会を中心として、「医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版」を踏まえたカリキュラム改革を行った。
--	--

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>医学教育IR室、カリキュラム評価委員会、カリキュラム委員会及び教育委員会を中心として、教育カリキュラムの改善に引き続き取り組む。 医学類FD委員会は、医療人材教育研究センターや金沢学術アカデミーと連携して、FD研修会のさらなる充実を図っていく。</p>

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 薬学類(創薬科学類)・創薬科学専攻・薬学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	金沢大学の方針に従ったFD活動を今年度も実施した。毎年、薬学系独自のFD研修会と、新任教員を対象とした研修会を開催している。今回も公務欠席者を除けば100%の出席率であった。薬学系FD研修会では「薬学類のキャリア教育を考える」をテーマに、薬学高度専門人材の養成に向けて「キャリア形成科目群」導入の背景と趣旨、科目の内容紹介、受講生の反応等について、説明を行った。教員間の情報共有、薬学教育の在り方等を考える機会となった。これらの活動を通して教育の改善・充実、教員の能力及び資質向上に繋がっている。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 学類長・専攻長、学類・大学院の教務・学生生活委員長、就職担当教員、FD委員会委員長が卒業・修了者に対するアンケート結果を確認した。アンケートの結果から、学修等の良好な達成度、「金沢大学で学んだことに満足している」の設問の回答が100%という結果も得られた。現行の授業内容・方法が学生にとって概ね適切であると分析している。令和6年度もFD研修会を継続実施し、授業評価アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
令和6年度薬学系新任教員 教務関連研修会	令和6年12月11日	教務全般の説明(カリキュラム、履修、成績判定、アカンサスポータルの運用、授業アンケート、アドバイザー制度)	薬学学類長、 FD委員長、 他4名	国際基幹教育院の協力を得た。
令和6年度薬学系(学類・大学院研究教育)FD研修会	令和7年3月18日	「Using ChatGPT and AI to Accelerate and Transform your Learning and Research」 ChatGPTをはじめとする AI 技術を、薬学教育・研究に取り入れる事例の紹介	薬学教員 26名	年度を繰り上げて令和6年度FD研修会として開催

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	金沢大学の方針に従ったFD活動を令和6年度も実施した。毎年、薬学系独自のFD研修会と、新任教員を対象とした研修会を開催している。薬学系FD研修会では「Using ChatGPT and AI to Accelerate and Transform your Learning and Research」と題し、金沢大学薬学Gary Ross先生よりChatGPTについて講演を行った。ChatGPTをはじめとする AI 技術を、薬学教育・研究に取り入れる参考事例が紹介された。教育分野においては、生成AIを適切に活用することで、学修効果が上がり、また教職員の業務効率化を図ることができるなどの効果が期待される等、薬学教育の在り方等を考える機会となった。これらの活動を通して教育の改善・充実、教員の能力及び資質向上に繋がっている。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学類長・専攻長、学類・大学院の教務・学生生活委員長、就職担当教員、FD委員会委員長が卒業・修了者に対するアンケート結果を確認した。アンケートの結果から、学修等の良好な達成度、「金沢大学で学んだことに満足している」の設問の回答が100%という結果も得られた。現行の授業内容・方法が学生にとって概ね適切であると分析している。令和7年度もFD研修会を継続実施し、授業評価アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬科学類

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	教育に関するFD(授業評価アンケートの結果を学類会議で共有する, シラバスの確認)については概ね実施できていた。また, 2月にFD研修会を開催し, 「医薬科学類独自の成績基準について」と題して, 合同開講科目における成績評価のありかたについて意見交換を行った。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ, 令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について, 具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 前年度に引き続き, 講義に関する提案(自由記載含む)が授業評価アンケート内容に含まれている場合, その内容について学類会議で共有し, 必要に応じてその内容を担当教員に照会し, 説得力のある提案については改善を検討するなど, 今後, 講義のあり方に実際に反映されるよう取り組みを行う。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下, 令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について, 令和6年度の実施状況を選択してください。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を, 授業方法・カリキュラムの改善のために, どのように活用しましたか。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数の教員が担当する科目において、オンライン講義を相互に視聴できるようにした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考
令和6年度第1回医薬科学類FD研修会	令和7年2月27日	医薬科学類独自の成績基準について	医薬科学類長、ほか約14名	全教員が参加した。
各教員が所属する系で開催されたFD研修会に参加した。 学類長ほか6名は医学系の研修会(13回のうち2回以上)へ、副学類長ほか6名は薬学系の研修会(1回)へ参加した。				

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	教育に関するFD(授業評価アンケートの結果を学類会議で共有する、シラバスの確認)については概ね実施できていた。また、2月にFD研修会を開催し、「医薬科学類独自の成績基準について」と題して、合同開講科目における成績評価のありかたについて意見交換を行った。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度に引き続き、講義に関する提案(自由記載含む)が授業評価アンケート内容に含まれている場合、その内容について学類会議で共有し、必要に応じてその内容を担当教員に照会し、説得力のある提案については改善を検討するなど、今後、講義のあり方に実際に反映されるよう取り組みを行う。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 保健学類・保健学専攻

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	今年度は保健学系独自に企画したFD研修会を計5回開催し、「こころの健康づくり」「論文の評価」「研究力分析ツールの活用」「ハラスメント防止」「HPVワクチン」に関わる内容を取り上げた。多くの教職員が参加し、事後に実施したアンケートの結果も良好であった。ハラスメント防止に関する内容は毎年取り上げているが、今年度はアサーションに着目した研修会を開催し、コミュニケーションがうまくいかないときや人間関係が難しいときの具体的な対処法について学ぶ機会を設けた。医学系FD研修会および医療人材教育研究センターFD研修会についても毎回案内を行い、参加を促すことによって、医療人材教育に関するさまざまなトピックを学ぶ機会を提供した。また、教育活動および研究活動の更なる充実を目的に、学類生の投票結果に基づく優秀教育教員の選出、および優れた業績を残した教員や大型公的研究費を獲得した教員を対象とした優秀研究教員の選出を行うとともに、これらの選出基準や選出方法についても見直しを行った。これらの活動を含め、当初予定していた活動を全て実施することができたため、大いに評価できると判断した。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 授業評価アンケートや卒業・修了者に対するアンケートの結果は、令和6年度も引き続き授業担当教員へのフィードバックを行い、必要に応じて改善に向けた働きかけや取り組みを進めていきたい。また、優秀教育教員に選出された教員が行っている優れた取り組みの共有、アクティブラーニングの導入推進、DXの推進などを通して、教員の教育能力の向上のための取り組みを進めていきたい。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組の実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備 考
令和6年度第1回保健学系FD研修会	令和6年8月7日(水)	セルフタッチング ストレスをコントロールしよう!	保健学類長, FD委員長, ほか57名	
令和6年度第2回保健学系FD研修会	令和6年11月6日(水)	発達障害について—学生の苦しさを知る	保健学類長, FD委員長, ほか45名	
令和6年度第3回保健学系FD研修会	令和7年1月8日(水)	高大接続の足がかり～高校現場の視点から	保健学類長, FD委員長, ほか 42名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
4	<p>令和6年度は保健学系独自に企画したFD研修会を、「セルフタッチング ストレスをコントロールしよう!」「発達障害について—学生の苦しさを知る」「高大接続の足がかり～高校現場の視点から」を演題として、合計3回実施した。</p> <p>第1回「セルフタッチング ストレスをコントロールしよう!」では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響が残る中、ストレスとどう対峙するかの解決の糸口となった。第2回「発達障害について—学生の苦しさを知る」では、学生の心の苦しきへの理解を深める機会となった。第3回「高大接続の足がかり～高校現場の視点から」では、現役の公立高等学校の先生方をお招きし、高大接続の現状や将来についてディスカッションを行った。</p> <p>以上のように、これまでにない企画であり、多くの教職員が参加した。医学系FD研修会および医療人材教育研究センターFD研修会についても毎回案内を行い、参加を促すことで、医療人材教育に関するさまざまなトピックを学ぶ機会を提供した。</p> <p>また、教育活動および研究活動のさらなる充実を目的に、学類生の投票結果に基づく優秀教育教員の選出、および優れた業績を残した教員や大型公的研究費を獲得した教員を対象とした優秀研究教員の選出を行った。これらの活動は大いに評価できると判断した。</p>

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>授業評価アンケートや卒業・修了者に対するアンケートの結果は、令和6年度も引き続き授業担当教員へのフィードバックを行い、必要に応じて改善に向けた働きかけや取り組みを進めていきたい。また、優秀教育教員に選出された教員が行っている優れた取り組みの共有、アクティブラーニングの導入推進、DXの推進などを通して、教員の教育能力の向上のための取り組みを進めていきたい。</p>

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人間社会環境研究科

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	令和5年度は、文系大学院の進路をテーマにFD研修会を実施した。「文系大学院と企業・団体との連携」というこれまで十分に検討されてこなかったテーマで、独自に工夫されたアンケートを実施し、集団的に分析を加えた。とくに、理系大学院学生に対する期待が高く需要も大きいと考えられてきた分野においても、人文社会系院生への期待が高く、潜在的需要も大きいことが確認されたことは、貴重な成果であった。研修会での討論により、アンケートをさらに充実させる方向性が共有されたので、今後も定期的にこの分野でのアンケートを実施するとともに、潜在的需要をどのようにして実際の進路選択・就職につなげていくかの集団的検討が必要であることが確認されたことも成果である。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 各種アンケートを実施しその結果について情報共有して、改善方策について検討するとともに、これらを参考にして授業の内容や実施方法の検討を行う。また、院生研究室の形態などを順次変更していく途上にあるが、その際に卒業・修了者に対するアンケートや意見交換会などで示される学生からの意見も参考としていく。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(実施していない)。()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(大学院授科目は5名以下の科目が多く、分布の偏りについて検証できるだけのデータを得られていないことから現状では成績評価分布について調査を計画していない)。()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
令和6年度第1回人間社会環境研究科FD研修会	令和6年11月29日	令和8年4月に予定する人間社会環境研究科「データプライバシーエキスパート養成プログラム」開始に向け、総務省統計研修研究官による講演と3研究域からの話題提供により、個人情報保護とデータサイエンスをめぐる潮流と諸課題に関する情報共有と意見交換を行った。	70名	人間社会研究域・理工研究域・医薬保健研究域共催で開催した第1回未来知融合シンポジウム「未来知で護るデータプライバシー」を、本研究科のFD研修会として兼ねたもの。
令和6年度第2回人間社会環境研究科FD研修会	令和7年3月27日	「大学院進学者を増やすために」と題する研修会で、留学生を中心として国内外の大学院へ多数の進学者を送り出している北陸大学の教員による講演と、人間社会環境研究科長による他大学の事例紹介をもとに、意見交換を行った。	18名	法学研究科との合同開催。

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	令和6年度は2回のFD研修会を実施した。1回目はデータプライバシーをテーマとし、データ活用とプライバシー保護をめぐる世界的な潮流と各分野での状況について情報共有をすることができ、令和8年4月に予定している「データプライバシーエキスパート養成プログラム」の開始に向けた準備として有益であった。2回目は大学院進学者を増やす方策をテーマとし、大学院進学者率の高い大学の事例報告から、学士課程の学生の大学院進学に関する意識を変え、早い段階から進学へのモチベーションを持たせることが重要であること等を学び、今後の研究科での取り組みのヒントを得ることができた。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度の授業評価アンケートと卒業・修了者アンケートの集計結果は概ね良好といえるが、学生の評価のやや低い項目については情報共有の上、改善方策について検討するとともに、これらを参考にして授業の内容や実施方法の検討を行う。また、院生研究室の形態などを順次変更していく途上にあるが、その際に卒業・修了者に対するアンケートや大学院学生との懇談会などで示される学生からの意見も参考としていく。
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬保健学総合研究科(修士課程・医学博士課程)

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、FD研修会(医学系)を対面で開催することができた。今年度より医学類FD委員会は医療人材教育研究センターと連携することで、医学系だけでなく、薬学系や保健学系の教員も参加可能なFD研修会の実現を目指した。授業評価アンケートについては、Webによる効率的な実施とすることができた。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに概ね学修等に満足している結果が得られた。 医学博士課程における2点の継続課題について、①複数指導体制について、令和5年度においても、3分の2の学生が十分に認識していない結果であった。今後は本人に周知するなど、指導体制を充実させることを検討する。②単位の修得方法、時期を分かりやすく手引に明示することにより、分かりにくいという学生の意見に減少傾向が見られるが、継続して実施する。 修士課程においては、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、対面授業、交流を促進することが可能となったため、令和6年度も継続する。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
医学系FD研修会	毎月1回第2月曜日 (8月、1月を除く)	アクティブ・ラーニング(特に授業のオンライン化に伴う手法)、カリキュラムとポリシー、シラバス、学生支援(メンタルヘルス、多職種連携教育、留学生対応)等	20名～50名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	FD研修会(医学系)を毎月対面開催することができた。令和5年度より医学類FD委員会と医療人材教育研究センターと連携し、医学系だけでなく、薬学系や保健学系の教員も参加可能なFD研修会の実現を目指した。授業評価アンケートについては、全学的な方針に基づき、Webにより効率的な実施とすることができた。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに学修等に満足している結果が得られた。医学博士課程における2点の継続課題について、①複数指導体制について、令和6年度においても、6割の学生が十分に認識していない結果であった。しかし令和6年度から学生面談を実施したことにより、複数指導体制が学生本人に認識されるようになると考えられる。②単位の修得方法、時期を分かりやすく手引きに明示することにより、分かりにくいという学生の意見に減少傾向が見られるが、継続して実施する。修士課程においては、対面授業が可能となり、アンケートでは、Q2において90%以上が学びたいと考えていたことが学べたもしくはどちらかといえば学べたという回答結果だった。またQ14では90%以上が本専攻で学んだことに満足しているもしくはやや満足しているとの回答結果であった。概ね良好だと考えられるが、令和7年度はさらに改善すべき点を検討する。</p>

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先進予防医学研究科

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	シラバスの点検を行い、記載内容の確認を行った。千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻合同FD講演会において、大学院教育におけるコーチング活用に関する情報を共有し、教育方法の改善へつなげることができた。授業評価アンケート結果は、授業担当者間で共有するとともに、今年度より公開した。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和6年度に向けた改善計画</p> 授業評価アンケートおよび修了者に対するアンケートに講義・実習授業に対する提案が含まれている場合は、その内容について研究科内で共有し、検討を行うなどにより教育活動の改善に取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義ならびに実習)を増やし、有効に活用するために、3大学合同FD講習会を継続して実施し、シラバス記載内容ならびに教育方法の改善に取り組む。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数教員が担当する科目において、オンライン講義を相互視聴できるようにした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
金沢大学・千葉大学・長崎大学 合同先進予防医学共同専攻 FD講演会	令和6年 12月10日	共同専攻合同のFD講演会を長崎大学主催で実施した。「1細胞・1塩基レベルでのトランスクリプトームとゲノム構造変異の同時計測法」のテーマでWebにより開催した。	3大学の担当教員、学生の計81名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	シラバスの点検を行い、記載内容の確認を行った。千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻合同FD講演会において、最先端のオミクス解析技術とその応用に関する情報を共有し、今後の教育・研究活動に資する新たな視点や連携の可能性を得ることができた。授業評価アンケート結果はすべてWebで公開し、担当教員が確認できるように適切に整備した。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケートおよび修了者に対するアンケートに講義・実習授業や教育計画、カリキュラムに対する提案が含まれている場合は、その内容について研究科内で共有し、検討を行うなどにより教育活動の改善に取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義及び実習)を増やし、有効に活用するために、3大学合同FD講習会を継続して実施し、シラバス記載内容及び教育方法の改善に取り組む。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 新学術創成研究科

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	各専攻における課題について、教員間で積極的に検討を行う機会を設けることができた。特に留学生の受入れに関しては、複数の具体的な事例を題材に、ワークショップ形式で考えることにより、理解を深めることができた。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 今年度も引き続き、教員間で研究内容についての相互理解を深めるとともに各専攻における課題に着目した研修会を計画し実施する。また、アンケート結果も踏まえ、異分野融合を促進させる指導方法等について検討する。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(授業評価対象授業の担当教員にアンケート結果の公開について通知)
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(融合科学共同専攻では、異分野「超」体験セッションⅠ(博士前期課程)、Ⅱ(博士後期課程)の授業を、専任教員に遠隔配信にて公開した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
融合科学共同専攻FD研修会	令和7年3月10日	JAISTと合同実施の授業における課題や改善及び学生募集についての検討・意見交換	12名※他、JAIST教員9名	JAISTとの合同開催
ナノ生命科学専攻FD研修会	令和7年3月26日	博士後期課程における標準修業年限内の修了に向けた現状の課題についての検討・意見交換	13名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	融合科学共同専攻のFD研修会はJAISTとの合同開催だが、令和6年度は、対面での実施により、率直かつ多様な意見交換が活発に行われた。また、各専攻で抱えている関心の高い課題を研修会のテーマに設定したこともあり、教員間で多くの質問や情報共有、検討が行われ、有意義な場を設けることができた。また、標準修業年限内で学位取得を目指すため、教員と学生との間で学位取得までの研究計画の策定について「新学術創成研究科の研究指導に関する目安」を定め、令和7年度から運用を開始することとした。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和7年度も引き続き、各専攻における課題に着目した研修会を計画し実施する。令和7年度は、総合知創出科学専攻が加わったことから、FD活動の実施体制等を検討し進めていく。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学研究科(修士課程・専門職学位課程)

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	・法学研究科への進学に関する意識調査の結果分析をFD研修会にて議論した結果を、大学院説明会の改善(在学者による大学院生活の紹介と質疑応答を追加)に活かすとともに、大学院進学を希望する学生や専攻の在学者の今後の指導に活かせる情報を教員間で共有した(法学・政治学専攻)。 ・組織的・継続的に、可能な限りの取組がなされ、毎年改善されている(法務専攻)。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 ・各種アンケートに加えて在学学生と直接意見交換する場を設けて学生のニーズを把握し、学修環境と組織体制の改善に努める(法学・政治学専攻)。 ・アンケート結果、及び、各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて教員間で共有し、FD研修会において継続的に検討する。また、意見交換会の際に、弁護士からの意見も聴取する(法務専攻)。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。(法学・政治学専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。(法学・政治学専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。(法学・政治学専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。(法学・政治学専攻) <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> その他(弁護士による授業参観も実施し、意見交換会において、実際に参観した弁護士からの意見を聴取している(法務専攻))

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
FD研修会「大学院進学者を増やすために」	令和7年3月27日	北陸大学国際交流センター横田隆志先生による、北陸大学の取り組みの紹介	20名	法学研究科・人間社会環境研究科共催
2024年度前期FD研修会	令和6年9月17日	1 学生の遅刻及び途中退席に対する対応について 2 学力レベルの異なる学生への対応について 3 SA室の使用状況等について 4 授業アンケートの回答率の向上策について	12名	法務専攻
2024年度意見交換会	令和7年1月16日	1 弁護士からの授業参観の感想について 2 未修者チューター制度等の現状について 3 授業参観の方式についての意見について	15名	法務専攻
2024年度後期FD研修会	令和7年3月11日	1 TKC模試及び司法試験の結果の共有について 2 授業アンケートに記載された誹謗・中傷等の表現について 3 試験問題の教員間の共有について 4 アンケートの回収率の向上策について 5 早期履修制度の問題点について	11名	法務専攻

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4	(法学・政治学専攻) 大学院進学者を増やすため、他大学の取り組みを学ぶFD研修会を実施した。 (法務専攻) 組織的・継続的に可能な限りの取り組みがなされ、毎年改善がなされている。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果及び各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて教員間で共有し、FD研修会において継続的に検討する。また、弁護士との意見交換会を開催し、授業参観をした弁護士からの意見を聴取するなどする。(法務専攻) 令和6年度に新設した高度専門職コース知的財産・リスク管理プログラム、及び令和7年度に新設予定のデータプライバシー・エキスパート養成プログラムにおける指導体制のあり方について引き続き検討する。(法学・政治学専攻)
--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 教職実践研究科

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	学生の学修成果を把握するため、教務・FD委員会の下、全ての授業に対して「授業改善のための学生アンケート」を、年間4回実施し、アンケート結果から各授業の学修成果等の分布を客観的に把握している。令和5年度から「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目での学びがスタートすることを踏まえ7つの活動に取り組んだ:①開かれた教職大学院の学びの場とし「オープンラボ」の開催, ②NPO法人との連携, ③附属学校園との連携, ④「共生」に係る授業を中核とした公開研修会の実施, ⑤部局間協定校との国際セミナーの開催, ⑥特別支援学校教諭専修免許の課程認定を受けての新しいカリキュラム開発, ⑦富山大学教職大学院と連携し、大学院学生主体の授業の相互参観を実施し、昨年度よりも多面的・多角的なFD活動を実施できた。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画 教職実践研究科におけるFD活動を、各クォーターで公開授業を含む年4回計画している。特に、R6年能登半島地震に関する授業を「探究教育」と「共生教育」の2領域でFD授業を実施する。また、R6年度から新たに開始する特別支援学校教諭専修免許の課程認定科目を中心として、その内容等を教務・FD委員会を定期的に開催しながら、研究・検証していく。さらに、R5年度に試行した富山大学教職大学院との共同のFD活動を定例化する予定である。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
能登里山里海未来創造センター(教育・ひとづくりWG)共催の公開研修会	令和6年6月12日	「災害時の子ども支援を学ぶ」と題して公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの山田心健氏を講師として招き、災害時の環境変化による「非日常」の生活の中で、子どもたちが安心・安全に遊び・学べる「日常」を取り戻すための中長期的なフェーズにおける必要な支援や接し方を学んだ。	55名	
授業を中核とした公開研修会	令和6年9月2日、3日	「共生教育フィールドワーク」の公開授業に基づく授業研究会を実施した。	1名	京都教育大学との合同研修会として企画し、両研究科カリキュラムの相互検討会も予定していたが、悪天候(台風接近)により合同研究会は実施できなかった。

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4	<p>令和5年度から「探究教育」と「共生教育」の2領域からなる新しい教育課程をスタートし、令和6年度はその完成年度にあたる。そのため、教務・FD委員会の下、全ての授業に対して「授業改善のための学生アンケート」を年間4回実施し、アンケート結果から各授業の学修成果等の分布を客観的に把握し、新教育課程の目標が首尾よく達成していることを確認した。また、令和6年度に教員養成評価機構の認証評価の受審にあたり、専門職大学院としてのFD活動の充実をはかり、以下の活動に取り組んだ:①「授業改善のための学生アンケート」をもとに、授業を学生主体となるよう改善を行った。②能登半島地震・豪雨災害における能登里山里海未来創造センター教育・ひとづくりWGのもとでNPO法人と連携した子どもの居場所づくりならびに学習支援を行った。③附属学校園コラボレーション推進室と連携しプロジェクトHESOIに参加した。④「共生」に係る授業を中核とした公開研修会を実施した。⑤部局間協定校である米国コロラド大学コロラドスプリングス校との交流会ならびに実地研修引率を行った。⑥特別支援学校教諭専修免許の教育課程の初年度として、新設の授業及び学校実習を首尾よく実施するとともに、新しい評価基準を作成した。このような多面的・多角的なFD活動を展開することで、令和6年3月の認証評価結果では、基準(6-2)において、「教育研究上の目的を達成するため、教職大学院と学校教育学類が一体となった研究や附属学校園との協働研究が進められている。また、「令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チームKUD」のもとで、「金沢大学復興アクションプラン」に関わり、令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて、教職大学院として探究教育と共生教育にかかる研究に着手している点が評価できる。教職大学院独自のFD活動も計画的に実施されており、これらの活動は探究教育領域および共生教育領域に関連する研究を基盤に、教育の質向上を目指した取り組みとして評価できる。(一部抜粋)」と、研究科のFD活動が適切に実施されている旨の評価を受けることができた。</p>

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学生主体の学修を重視しつつ、教務・FD委員会の下、全ての授業に対する「授業改善のための学生アンケート」を年間4回実施し、アンケート結果をもとに授業改善を継続する。令和7年度は完成年度を迎えた新教育課程をさらに充実・発展させるために、次の6点について新しい視点を取り込む：①社会に開かれた教職大学院をめざしてサービス・ラーニングの視点を取り入れ、通年にわたるプロジェクト型の授業を推進する。②「オープン・ラボ」等の開かれた学びの機会を、通年型のプロジェクト型授業の中間に位置づける。③能登半島地震・豪雨災害からの復興のためにNPO法人との連携を推進する。④附属学校園コラボレーション推進室と連携を継続する。⑤プロジェクト型の授業を中核とした公開研修会を実施する。⑥新しい時代の教職の在り方を検討するため、研究科長裁量経費により、スクール・リーダーシップの専門家を招聘し、公開の国際セミナーを開催する。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際基幹教育院(GS教育部門)

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	本年度はGS教育系主催で7回のFD研修会を実施した。「総合教育部の運営マニュアル」、「アクティブ・ラーニングの技能改善」、「LGBTQ+の理解と問題点」、「受講生相互採点による成績評価法と双方向性の高い教育の実現」、「生成AIを利用した教育支援」、「フューチャー・デザインの導入」に関する内容を取り上げ、各研修会では積極的な意見交換が行われた。また、GS教育系の各科目では、担当教員間での自主的なFD活動が複数回実施されており、アクティブ・ラーニングや英語授業の効果の向上等、授業改善に向けた効果的なFD活動が実施できていたと考えられた。外国語教育系主催のFD研修会への積極的な参加を促すことにより、共通教育における相互理解と問題点の共有に取り組むことができた。GS教育系は医薬保健、理工、社会科学や芸術まで全学術領域にまたがる内容であり、他の学類と比較すると科目の個性・特殊性がより強いと言えるが、アクティブ・ラーニングの手法、成績評価方法や生成AIによる教育支援等の全科目で共有できるテーマを見出し、これからも効果的なFD活動を実施していく予定である。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(希望者による公開授業を実施した)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考
AIツールを利用した授業運営法とAIを用いた不正行為への対策	令和6年6月13日	AIに精通した教員3名(八柳,三橋,佐藤)によるAIの現状,学生の利用傾向と対策について	39名	
大阪大学における初年次少人数セミナー型導入科目「学問への扉」の有効性と課題	令和6年10月11日	大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部村上正行教授による大阪大学の先進的取り組みについての講演	29名	
GS教育系各委員会報告会	令和6年11月21日	系内各委員会活動に関する報告と今後の連携と展開について	15名	オンライン開催
授業公開週間“Open Class Week”	令和6年10月15-29日	GS教育系,外国語教育系(英語科目,初習言語科目)合計55コマの授業公開	55名	
生成AIを活用した教育支援の活用事例と実践方法	令和7年3月24日	生成AIを活用した教育支援の活用事例と実践方法に関する株式会社システムサポートの講師による講演	34名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
4	GS教育系の所属教員は医薬保健,理工,社会科学や芸術まで全学術領域にまたがっている。逆にその特性を活かし,アクティブ・ラーニングの手法,成績評価方法や生成AIによる教育支援等,学術領域を超えて共有する教育の課題を検討する活動を行なっている。令和6年度はGS教育系主催で,4つのFD研修会を行なった。特に力を入れたテーマはAI関連であり,「AIツールを利用した授業運営法とAIを用いた不正行為への対策」「生成AIを活用した教育支援の活用事例と実践方法」の2つを実施した。このほか「大阪大学における初年次少人数セミナー型導入科目「学問への扉」の有効性と課題」「GS教育系各委員会報告会」も行なった。外国語教育系主催のFD研修会への積極的な参加を促すことにより,共通教育における相互理解と問題点の共有に取り組むことができた。また,「Open Class Week」として,外国語系と共同で,教員間の授業参観の試みを実施した。2週間にわたり合計29名の教員が55コマの授業を公開した。これらに加え,担当教員間での自主的なFD活動が複数回実施されており,アクティブ・ラーニングや英語授業の効果の向上等,授業改善に向けた効果的なFD活動を行なっている。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる,3:概ね評価できる,2:あまり評価できない,1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ,令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について,具体的に記載してください。

--

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際基幹教育院(外国語教育部門)

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	4	<p>令和5年度はすべての教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部・未来教育創成環教育企画部)において充実したFD活動が実施された。</p> <p>2022年度設置した英語将来構想WGが英語科目の抱える課題の洗い出しを行い、2024年度開講予定の新カリキュラムの方向性を提示した。(1)「英語で教授する」、(2)「共通シラバス・共通教材(共通教科書)・共通試験・評価」、(3)外部客観試験スコアを用いた学生の英語力の悉皆経年把握、(4)教育企画部による統一コース管理という特徴を継承しつつも、より確かな英語読解力、事象を批判的に捉える力(クリティカル・シンキング)、英語による発信力、汎用的知的コミュニケーション能力、本質的課題を見出しそれらの解決を思考する姿勢を育成・涵養するプログラムの開発が各教育企画部に指示された。これらの方針に基づき、国際試験教育企画部とEAP教育企画部は改革案をまとめ、科目開発およびシラバス・教材・教員マニュアルの全面的改訂を行った。</p> <p>国際試験教育企画部は、従来「TOEIC準備コース」で扱っていたTOEICテスト対策の要素は残しつつ、より汎用的な実践英語を扱う「Practical English」という新コースを開発し、教科書もTOEIC対策に特化したものからより汎用的でクリティカル・シンキングの要素を入れた新しいものへと変更した。なお、客観試験の最終成績に占める比率を70%にするなど成績評価基準も変更した。</p> <p>EAP教育企画部は、生成AIや機械翻訳への対応を考慮し、従来のEAPコースの内容に加えて、自分以外が書いたテキストへの評価や語彙、クリティカル・シンキングの自習教材・小テストを新たに導入し、主観的評価要素を排した客観的評価の要素が成績全体の30%を占めるような成績評価制度を構築した。なお、1年次学術リテラシー教育の基礎的科目と位置づけられる「アカデミックスキル」「プレゼンディベート」とEAPコースの連携を強めるために、各クォーターの授業で扱う内容や順序を適正化した。</p> <p>学術リテラシー教育企画部は、全学的な学術リテラシー教育の推進のため2年次以上を対象とする英語学術リテラシー科目5コース20科目を開発し、令和6年度については共通教育自由履修科目としてパイロット開講することにした。</p> <p>初習言語教育企画部では、学類との連携を強めより統一的に初習言語科目を運営するために、初習言語科目カリキュラム連絡会を設置した。また、初習言語科目カリキュラム改革WGを設置し、新カリキュラム作成検討準備会議を2023年度において30回以上開催した。これまでの初習言語科目の開講形態を抜本的に見直し、教育企画部による統一コース管理(統一教育目標、統一開講時間帯)を導入した新たなカリキュラムを立案・構築し、新カリキュラムのポイントをまとめた冊子『共通教育初習言語カリキュラム要覧』を作成し、関係教員に配布した。</p> <p>生成AIの台頭を踏まえたFD研修会ほか他部局・学類との連携した講演・研修会が複数実施されるなど活発なFD活動が展開された。これらの多様なFD活動を活かしてポストSGUの外国語教育改革に取り組み、新カリキュラムをまとめ上げた。</p>
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他(教育企画部コーディネーターで結果を分析し、新カリキュラム策定委に活かした。)
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
第1回外国語教育系FD研修会 (初習言語教育企画部企画)	令和6年7月12日	Jana Klacanska講師「ドイツ語授業における教材の工夫—第28回DaFセミナー参加を通しての考察」	系長ほか6名	
第2回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部企画)	令和6年7月26日	第1回 EAPワークショップ	系長ほか9名	
第3回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画)	令和6年9月5日、12日	(講演会)前田広之氏・Ross Tulloch氏「英語読解問題作成セミナー:TOEIC Part 7 で学ぶ問題作成の視点と考え方」	系長ほか10名	オンライン開催
国際基幹教育院FD活動 (GS教育系・外国語教育系共催)	令和6年10月15-29日	授業公開週間“Open Class Week“	系長ほか55名	院長、系長参加。GS教育系、外国語教育系(英語科目、初習言語科目)合計55コマの授業公開。
第4回外国語教育系FD研修会 (国際基幹教育院共催)	令和6年12月2日	(講演会)中山裕木子「生成AI とのつきあいかた—これからの英語学習を考える」	系長ほか39名	オンライン開催
第5回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部)	令和7年2月13日	第2回EAPワークショップ	系長ほか14名	

第6回外国語教育系FD研修会 (初習言語教育企画部)	令和7年2月19日	新共通教育初習言語カリキュラム施行の1年 を振り返る	系長ほか9 名	
未来創成教育環主催FD研修会 (国際基幹教育院共催)	令和7年3月5日	(講演会)保田幸子「英語科学論文の書き方・ 教え方」	系長ほか 89名(オン ライン参加 者 65名)	
未来創成教育環主催FD研修会 (国際基幹教育院共催)	令和7年3月12日	(国際シンポジウム)大藪加奈・門田修平・柴田 美紀・David Wei Dai「ソーシャル・エイジェントと しての英語使用者養成:国際共修教室におけ るインターアクティブ・コンピテンシーと社会・文 化アウェアネス」	教育担当 理事,学長 補佐,系長 ほか38名 (オンライン 参加者 24名)	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
4	<p>授業評価アンケートなどの結果を踏まえ、より教育の質的向上を図るために計画された教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部・未来教育創成環教育企画部)のFD活動は予定通り実施された。</p> <p>令和6年度に新設されたPractical Englishコースでは、TOEIC準備コースの大枠(共通シラバス・共通教科書・共通試験)は継続し、クリティカル・シンキングなどの要素を取り入れた、より汎用性の高い英語能力の養成を目指した。授業内活動を増やす変更として、反転授業を促す教科書の選定、共通「帯活動」の導入、成績評価における試験成績と授業内評価の比率の変更(8対2から7対3)が挙げられる。</p> <p>EAP教育企画部は教員からのフィードバックや教育研究、学生の学習観察に基づき常にそのカリキュラムを刷新してきた。批判的思考や文献に基づく文書作成やプレゼンテーションなど、大学での学びに必要な基礎的な学術スキルの養成を明確な教育目標としている点やアクティブラーニングや学生に主体性を持たせる教育方法を取って初年次教育に貢献している。</p> <p>これらの実現に大きな教員負担がかかり、その負担軽減もまた課題の一つであった。そのための方策として、令和6年度には、LMSで自動採点できる小テストを導入した。運用する過程で大学の基幹的ネットワークの問題が浮上したが、現場での対応により成績評価等への影響は回避された。</p> <p>学術リテラシー教育企画部は、全学的な学術リテラシー教育の推進のため2年次以上を対象とする英語学術リテラシー科目5コース20科目を開発し、令和7年度の学域共通GS言語科目への開講に向けて、令和6年度は共通教育自由履修科目としてパイロット開講した。</p> <p>初習言語教育企画部では、これまでの初習言語科目の開講形態を抜本的に見直した新カリキュラムの初年度であった。年度末には学生に向けて初習言語に関するアンケートを実施した。そのアンケートの報告と新カリキュラムに関する教員の意見交換、改善策の議論の場としてFD研修会を開催した。FDでの議論を踏まえて、初習言語教育企画部で新カリキュラムの細部を検証し、『共通教育初習言語カリキュラム要覧』に反映させた。加筆修正された『要覧』は関係教員に配布された。</p> <p>外国語教育系では、生成AIの台頭を踏まえたFD研修会ほか、GS教育系との共催で開催された授業見学週間Open Class Weekでは、外国語教育系所属教員全員が授業を公開し、他部局・学類との連携した講演・研修会が複数件実施されるといった活発なFD活動が展開された。これらの多様なFD活動を活かして本学の外国語教育のさらなる深化を目指す。</p>

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学術メディア創成センター

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分について、令和6年度に向けて本センター教員全員で講習ができたこと、またメールやslack等を用いてお互い担当の授業を報告・情報共有しリアルタイムで授業改善に役立てられたことから、概ね評価できる。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考
データサイエンス基礎の授業実施説明会	令和7年3月24日	次年度(令和7年度)のデータサイエンス基礎の実施に向けた研修会	センター長 他9名	
数理データサイエンスAI基礎/発展の事例紹介	令和7年3月24日	多文化共修とデータサイエンス教育を融合させた授業の実践報告	センター長 他9名	

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総評
3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分について、令和6年度担当内容についてメールやslack等を用いてお互いの授業について情報共有し即座に授業改善に役立てられたこと、令和7年度に向けて本センター教員全員で講習ができたことから、概ね評価できる。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和6年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際日本研究センター(旧国際機構)

参考資料:「令和5年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和6年度に向けた改善計画		
自己評価	令和5年度の自己評価	総評
令和5年度FD活動の自己評価及び総評	3	国際機構は、留学生や国内学生のための質の高い教育や生活・学習サポートを提供するだけでなく、派遣・受け入れショートプログラムの運営、新しいプログラムの開発が求められている。特に令和5年度には、令和6年度から始まる新体制での教育、研究その他の業務内容について、各担当分野の教員が経験を基に活発な意見交換を重ね、FD活動を強化した。
授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和6年度に向けた改善計画

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和6年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> AL(Active Learning)に関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(総合日本語プログラムの授業はすべて、担当者が互いに教材や授業の進め方などについての報告及び問題点の指摘などを行えるよう、定期的なミーティングを行っている。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和6年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和6年度の実施状況(名称・開催日・概要・参加人数)を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。

名 称	開催日	概 要	参加人数 (概数)	備 考

○照会事項5 令和6年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和6年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和6年度の自己評価	総 評
3	国際日本研究センターは、留学生や日本人学生のための質の高い教育や生活・学習サポートを提供するだけでなく、派遣・受入プログラムの運営、新しいプログラムの開発が求められている。特に令和6年度後半には、ソーシャルインパクト事業に採択されことにより、事業の核となる「国際共修」を推進すべく、次年度の取組に向けたFD活動として、各担当分野の教員が経験を基に活発な意見交換を重ねた。

【令和6年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和6年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和7年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。